

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局本部

目 次

〈常任理事会報告（2015 年 3 月 8 日）〉

〈理事会報告（2015 年 3 月 8 日）〉

- I. 第 26 回大会（昭和女子大学）について
- II. 各種委員会と常任理事会に関する規程の整備について
- III. 課題研究・シンポジウムの資料の学会 HP への掲載について
- IV. 業務委託の値上げについて
- V. 学会発足 30 周年（2020 年）に向けての事業について
- VI. 各種委員会報告
- VII. 事務局報告

〈研究・広報委員会からのお知らせ〉

〈事務局からのお知らせ〉

常任理事会報告（2015 年 3 月 8 日）

常任理事会が 3 月 8 日（日）13 時 00 分から 14 時 15 分まで、お茶の水女子大学文教育学部 1 号館 220 室にて開催されました。常任理事 6 名（欠席 2 名）および事務局 3 名が参加しました。

代表理事より「常任理事会に関する規程の整備」および「学会発足 30 周年（2020 年）に向けての事業」について提案され、それに基づいて審議され、理事会に提案・審議することが決定しました。

理事会報告（2015 年 3 月 8 日）

定例理事会が 3 月 8 日（日）14 時 30 分から 17 時 00 分まで、お茶の水女子大学文教育学部第一会議室にて開催されました。理事 16 名に加えて、次回大会開催校（昭和女子大学）より押谷由夫会員、緩利誠会員が参加しました。

I. 第26回大会（昭和女子大学）について

押谷会員より配布資料に基づき、大会日程（2015年7月4・5日、昭和女子大学）について提案された。大会参加費について、学生会員は審議により2,000円とすることが決定した。公開シンポジウムのみ参加費は無料とすることが確認された。関連して、年会費の納入期限と発表資格の確認、海外在住会員については会費納入について配慮を要する点が基づき確認された。

大会案内は3月下旬にEメールを送信し、ホームページ上でも告知をすることが決定した。

○ 会場 昭和女子大学 80年館、研究交流会会場 学園本部館大会議室

○ 大会日程

【1日目】7月4日（土）

9:15 受付開始
10:00～12:00 課題研究Ⅰ／課題研究Ⅱ
12:00～13:00 昼食
13:00～15:00 自由研究発表Ⅰ
15:15～17:45 公開シンポジウム
18:00～20:00 研究交流会

【2日目】7月5日（日）

9:30 受付開始
10:00～12:00 自由研究発表Ⅱ
12:15～13:30 総会・昼食
13:30～15:30 課題研究Ⅲ

○ 公開シンポジウム（4日）

テーマ：「特別の教科 道徳」の設置で道徳教育や教育課程がどう変わるのか

司会者：富士原紀絵（お茶の水大学）、未定

○ 課題研究

① 「資質・能力の育成をどう考えるか」（4日） 課題研究Ⅰ&Ⅱ

コーディネーター：藤川聡、西岡加名恵

② 「現代社会における教科成立の根拠を問う」 課題研究Ⅳ

コーディネーター：的場正美、中野和光

③ 「現代日本の教育課程行政における政治・行政・経営をめぐる諸課題-教育課程基準に関する中央教育審議会の審議過程を中心として-」（5日） 課題研究Ⅲ

コーディネーター：小泉祥一、石田有記

○自由研究発表申込〆切 2015年5月6日（水）

発表要旨集録原稿〆切 2015年6月7日（日）

II. 各種委員会と常任理事会に関する規定の整備について

長尾代表理事より会則の条項新設が提案され、次の条項を総会での審議事項とすることが承認された。

「本会の運営を円滑に行うために、委員会を置くことができる。

2 各委員会には、理事の互選により、委員長及び副委員長を置く。」

「互選」は、「理事の中から、代表理事の指名と理事会の承認により」という意味であることが確認された。

III. 課題研究・シンポジウムの資料の学会 HP への掲載について

天笠委員長より、資料に基づき課題研究の当日配布資料を PDF 化し、アクセス制限をして配信するサービスの開始について提案され、承認された。

IV. 業務委託の値上げについて

松下事務局長より資料に基づき、国際文献社からの事業委託費の値上げ依頼内容について説明の上、これを承諾することが提案され、承認された。

なお、今年度と同様の業務内容の場合、今年度と比較して、税抜きで約 33 万円の値上げとなる。

V. 学会発足 30 周年（2020 年）に向けての事業について

長尾代表理事より、学会発足 30 周年事業につき、出版事業に向けて検討することが提案され、承認された。

VI. 各種委員会報告

1. 紀要編集委員会（橋本委員長）

(1) 「カリキュラム研究」第 24 号の編集状況につき報告された。投稿論文数減少への対策として、「投稿要領」「投稿にあたって」の改正案（根津副委員長が説明）が提案され、承認された。査読結果（採択 4 本）については、査読者に報告すること、査読基準について検討中であることが報告された。

(2) 研究奨励賞候補者なしと報告された。また、研究奨励賞規程の改正案が提案され、総会での審議事項とすることが承認された。

2. 国際交流委員会（的場委員長）

報告事項なし。

3. 研究・広報委員会（天笠委員長）

(1) 第6回研究集会

日時：2015年3月28日（土） 13:30-16:30

場所：京都光華女子大学 聞光館1階 会議室

発表内容：木村裕会員（滋賀大学）「オーストラリアのグローバル教育の理論と実践」

長者美里校長（京都光華中学校・高等学校）「高等学校普通科における特別支援教育のプログラムとその条件整備-京都光華高等学校の場合-

(2) 11月にシンポジウム開催について企画中であることが報告された。

Ⅶ. 事務局報告

会員現況報告、寄贈図書報告、会計途中報告、「学会名鑑」（日本学術会議データベース）への回答をおこなったことを報告した。

(1) 会員現況報告（2015年2月27日時点）

会員総数 703名（一般会員612名、学生会員83名、団体会員8件）

※連絡先不明者2名、会員一時資格停止者36名を含む。

注：昨年同時期は、会員総数726名（一般会員630名、学生会員87名、団体会員9件）

・新規入会者（2014年10月28日～2015年2月27日）2名

| | 入会日 | 氏名 | 所属 | 区分 | 推薦者 |
|---|------------|-------|---------------|----|-------|
| 1 | 2014/11/29 | 松浦 武人 | 広島大学大学院教育学研究科 | 一般 | 事務局 |
| 2 | 2015/1/14 | 山田 真子 | 広島大学大学院教育学研究科 | 学生 | 磯崎 哲夫 |

・退会者（2014年10月28日～2015年2月27日）1名

| | 退会日 | 氏名 | 所属 | 区分 |
|---|-----------|-------|----|----|
| 1 | 2015/1/29 | 青木 善保 | | 一般 |

・連絡先不明者 2015年2月27日現在2名（すべて新規）

| | 氏名 | 所属 | 区分 |
|---|----------|-------------------|----|
| 1 | 買尼沙汗 买买提 | 大阪市立大学 | 学生 |
| 2 | 秦 東興 | 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 | 学生 |

研究・広報委員会からのお知らせ—第6回研究集会（最終案内）—

下記の通り、第6回研究集会を開催いたします。ふるってご参加ください。なお、本集会は会員外にも公開しています。ご関心のある方々にもお声がけをお願い致します。

日時：2015年3月28日（土） 13：30－16：30

場所：京都光華女子大学 聞光館（もんこうかん）1階 会議室
（〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38 京都光華女子大学）

問い合わせ先：東北大学大学院教育学研究科 小泉研究室
電話：022-795-6127（直通、ファックス兼用）
E-mail：koizumi@sed.tohoku.ac.jp（研究室）

参加費：無料

発表内容：

■木村裕先生（滋賀県立大学・准教授）

「オーストラリアのグローバル教育の理論と実践」

オーストラリアのグローバル教育とナショナル・カリキュラムについて、ご報告をお願いしています。

■長者美里先生（京都光華中学校・高等学校・校長、元京都市立京都御池中学校・校長）

「高等学校普通科における特別支援教育のプログラムとその条件整備

—京都光華高等学校の場合—

普通科の高等学校における生徒の「困り」を支援するソーシャルスキル形成のプログラム、とりわけ対話型授業とそのための学校内の条件づくりと環境づくりについて、ご報告をお願いしています。

長者先生は、以前、京都御池中学校長として小中一貫コミュニティスクール、新教科「読解科」開発の取り組みを行っておられます。

事務局からのお知らせ

1. 寄贈図書一覧（2014年10月31日～2015年2月27日到着分）

| | 著者名 | タイトル | 出版社等 | 発行日 | 受領日 |
|---|-----------------------------|------------------------------------|---------|------------|------------|
| 1 | 戸野塚厚子 | スウェーデンの義務教育における「共生」のカリキュラム | 明石書店 | 2014/7/10 | 2014/9/26 |
| 2 | 山本敏郎・藤井啓之・高橋英児・福田敦志 | 新しい時代の生活指導 | 有斐閣 | 2014/11/30 | 2014/12/18 |
| 3 | 長濱博文 | フィリピンの価値教育—グローバル社会に対応する全人・統合アプローチ— | 九州大学出版会 | 2014/3/31 | 2015/1/14 |
| 4 | 磯田文雄 | 教育行政 —分かち合う共同体をめざして— | ミネルヴァ書房 | 2014/12/30 | 2015/1/16 |
| 5 | 松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター(編著) | ディープ・アクティブラーニング—大学授業を深化させるために— | 勁草書房 | 2015/1/20 | 2015/1/22 |
| 6 | 京免徹雄 | フランスの学校教育におけるキャリア教育の成立と展開 | 風間書房 | 2015/1/31 | 2015/2/2 |
| 7 | 楠見孝・道田泰司(編) | 批判的思考—21世紀を生きぬくりテラシーの基盤— | 新曜社 | 2015/1/21 | 2015/2/6 |

*前回
遺漏分

2. 平成26年度（2014年度）分 会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の方は、納入をお願いします。3月9日時点での**2014年度会費の納入率は87.1%**です。納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

大会にて、自由研究発表を申し込まれる方は、平成24年11月の理事会で確認されました下記の点についてご理解の上、申込みを行ってください。

自由研究発表者は、共同発表者を含め、原則として当該年度までの年会費を大会終了時まで納入した会員でなければなりません。しかし、下記の「理由」により、大会受付で会費を納入することはできなくなりました。

新入会員で発表を希望される方は、発表申込み締切までに速やかに入会手続を完了してください。遅れますと資格不備により発表できません。

【理由】

会費納入に関わる事務は国際文献印刷社に委託しております。年会費の納入確認は会員による振り込みのシステムと連動しており、第23回大会より、現金での年会費納入のための窓口設置は行わないことにしました。この旨は事前に送付する発表プログラムにも記載いたします。

従来ですと、大会当日の終了時点までに、大会当日に設置された会費納入窓口で現金で年会費を納入すれば発表資格は満たされてきましたが、今大会より従来の納入方法では発表資格を確認できないことになりました。そこで、大変恐縮ですが、発表を申し込まれる皆様には、納入依頼が届き次第、6月12日（金）までに速やかに年会費の『前納』の振り込みをお願いいたします。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく（株）国際文献社内・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

（年会費：一般 8,000円、学生 5,000円、団体 10,000円）

【 入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先 】

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター（株）国際文献社内

日本カリキュラム学会会員窓口

Tel : 03-5389-6213 Fax : 03-3368-2822

E-mail : jscs-post@bunken.co.jp

【 上記以外の学会運営に関する問い合わせ先 】

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

京都大学高等教育研究開発推進センター 松下佳代気付

日本カリキュラム学会事務局本部

E-mail : jscs@nifty.com

【 学会ホームページ 】

URL : <http://jscs.b.la9.jp/>